

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	こども未来学科	【学年】	1	
細川 梢	児童福祉施設 7年勤務	細川	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	15(30)	
			【曜日・コマ】	火 2	【授業形態・単位】	講義 2	
【授業の概要】 社会的養護の意義や歴史の変遷、制度について学び、児童も一人の人間であることを理解する。また、児童の権利擁護や自立支援についての理解を深められるように具体的に学ぶ。					【受講して得られる力】 考え抜く力 チームで働く力 生活援助技術 相談支援技術		
【学習目標(到達目標)】 ①現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 ②子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 ③社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 ④社会的養護の対象や形態、関係する専門職などについて理解する。							
【履修上の注意】 書くことを面倒くさがらずに、メモを取る。レポート課題は、文章内容、分量に気を付けること。							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	オリエンテーション		授業の内容や進み方、履修上の注意点について理解する。				
2	社会的養護の理念と概念		理念や概念を知り、現代が目指す社会的養護の全体像を理解する。				
3	社会的養護の歴史の変遷		社会的養護の成り立ちと、保護を必要とする子どもの背景を理解する。				
4	児童の権利と社会的養護		子どもの権利を守ることを意味を、子どもの権利条約を通して理解する。				
5	社会的養護の仕組み		社会的養護の体系と一時保護の流れを理解する。				
6	施設養護の実際		乳児院で暮らす子どもたちと施設の役割を、映像を通して理解する。				
7	施設養護の実際		児童養護施設で暮らす子どもたちと施設の役割を、映像を通して理解する。				
8	施設養護の実際		福祉型障害児入所施設で暮らす子どもたちと施設の役割を、映像を通して理解する。				
9	施設養護の実際		医療型障害児入所施設で暮らす子どもたちと施設の役割を、映像を通して理解する。				
10	施設養護の実際		児童自立支援施設の役割と、非行児童の支援を映像を通して理解する。				
11	施設養護の実際		児童心理治療施設の役割と、被虐待児や発達障害児の支援を映像を通して理解する。				
12	家庭養護の実際		里親制度の理解と、里親家庭で暮らす子どもたちの背景を映像を通して理解する。				
13	児童福祉施設で働く専門職		社会的養護に携わる専門職種の種類と仕事内容を理解する。				
14	被虐待児の特徴		被虐待児に見られる行動とその意味を、育ちの背景から理解する。				
15	施設養護の基本原則と展望		社会的養護に求められている役割と、児童養護施設の今後の展望を理解する。				
期末試験	筆記試験		評価方法	筆記試験	40%	レポート	30%
				受講態度	30%		
【教科書】現代の保育と社会的養護(勁草書房)							
【参考書】最新保育士養成養成講座 第3巻 子ども家庭福祉(全社協)							
【授業時間外に必要な学習の具体的な内容】児童虐待、子ども(障害児)の社会問題を、ニュースで調べたり、今後の参考となる情報収集をすること。							
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】			教員室にて ※ノート提出時でも可

授業名： 子どもの生活と遊び(言葉と児童文化財) ※実務経験のある教員の授業科目

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	こども未来学科	【学年】	1	
勝見 恵子	幼稚園・保育所 30年勤務	勝見	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	15(30)	
			【曜日・コマ】	木 2	【授業形態・単位】	演習 1	
【授業の概要】 昔から受け継がれている歌や遊び、また絵本や紙芝居など様々な児童文化財に触れ、実践を通して子どもの育ちとの関わりについて考え、保育者の役割について学ぶ。					【受講して得られる力】 遊びの展開技術 コミュニケーション技術 環境構成技術 発達援助技術 前に踏み出す力		
【学習目標(到達目標)】 ① 児童文化について知識や技術を身に付ける。 ② 児童文化教材の特性を理解し、教材づくりや保育の展開を理解する。							
【履修上の注意】							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	児童文化とは		子どもと児童文化 児童文化について理解を深め、子どもの育ちとの関係について学ぶ。				
2	絵本		絵本の選び方 子どもの育ちを考えた絵本の選び方や読み聞かせの留意点について学ぶ。				
3	絵本		絵本の読み聞かせ 効果的な絵本の読み聞かせについて実践を通して学ぶ。				
4	絵本		絵本の読み聞かせ 効果的な絵本の読み聞かせについて実践を通して学ぶ。				
5	紙芝居		紙芝居教材研究 紙芝居の特性や魅力について調べる。				
6	紙芝居		紙芝居の演じ方 効果的な演じ方や活用方法について実践を通して学ぶ。				
7	伝承遊び		わらべうた わらべうたの基本的な知識と発達に合った遊びについて学ぶ。				
8	伝承遊び		あやとり 子どもの発達を考えた遊び方について学ぶ。				
9	伝承遊び		言葉遊び 言葉遊びを通して言葉の楽しさや言葉を豊かにする保育について実践を通して学ぶ。				
10	伝承遊び		折り紙 季節を感じるカレンダーを製作する。				
11	伝承遊び		折り紙 季節を感じるカレンダーを製作する。				
12	ペープサート		ペープサート教材研究 ペープサートの特性や魅力、また演じ方や活用する方法について調べる。				
13	ペープサート		ペープサート製作 幼児が楽しめる保育教材を製作する。				
14	ペープサート		ペープサート製作 幼児が楽しめる保育教材を製作する。				
15	ペープサート		ペープサートの演じ方 製作したペープサートで模擬保育を行う。				
期末試験	実技試験 教材を使った模擬保育		評価方法	実技試験 50%	受講態度 30%	課題の達成度 20%	
【教科書】テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布して授業を行います。							
【参考書】言葉と表現力を育む児童文化(萌文書林) 演習 児童文化 保育内容としての実践と展開(萌文書林)							
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】A4サイズのリングファイル、折り紙、色鉛筆、のり、はさみを用意してください。							
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】			教員室にて

授業名： 子どもの生活と遊び(表現と運動) I ※実務経験のある教員の授業科目

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	子ども未来学科	【学年】	1
鍋山 友子	高等学校 36年勤務	鍋山	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	15(30)
			【曜日・コマ】	木 4	【授業形態・単位】	演習 1
【授業の概要】 保育の内容を踏まえて、子どもの生活と遊びにおいてイメージを豊かにし、感性を養うために必要な表現・知識・技術を習得する。					【受講して得られる力】 遊びの展開技術 コミュニケーション技術 チームで働く力	
【学習目標(到達目標)】 ①子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具を活用する知識・技術を習得する。 ②見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等の表現活動を体験し、技術を習得する。 ③リズムカルに動ける身体作りと保育の具体的展開のための技術を習得する。						
【履修上の注意】 運動着・シューズの着用と水分補給のための飲料を忘れずに持参すること。						
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)			
1	ガイダンス ストレッチ体操 自己紹介ダンス		授業内容の説明 ストレッチ体操 縄跳び 自己紹介ダンスを踊る。			
2	フォークダンス ①幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び フォークダンスを踊る。 一つ目の幼児向けダンスを2分の1まで覚える。			
3	2人組での運動遊び ①幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び 2人組での運動遊びを行なう。 一つ目の幼児向けダンスを3分の2まで覚える。			
4	複数組での運動遊び ①幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び 複数組での運動遊びを行なう。 一つ目の幼児向けダンスを最後まで覚える。			
5	楽しい運動遊び ①幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び フープを用いての運動遊びを行なう。 一つ目の幼児向けダンスの到達度を確認する。			
6	考える力を育てる運動遊び ②幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び 氷渡り・ジグソーパズルの運動遊びを行なう。 二つ目の幼児向けダンスを2分の1まで覚える。			
7	数を使った集合遊び ②幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び 集合遊びを行なう。 二つ目の幼児向けダンスを3分の2まで覚える。			
8	手具を用いた運動遊び ②幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び 風船・ボール遊びを行なう。 二つ目の幼児向けダンスを最後まで覚える。			
9	手作り遊具を使った運動遊び ②幼児向けダンス		ストレッチ体操 縄跳び じゃんけん首飾りを行なう。 二つ目の幼児向けダンスの到達度を確認する。			
10	即興表現遊び 遊園地 幼児向け創作ダンス		ストレッチ体操 縄跳び 遊園地の表現あそびを行なう。 幼児向けのダンスを創作する。①回目			
11	即興表現劇遊び 大きなカブ 幼児向け創作ダンス		ストレッチ体操 縄跳び 大きなカブの表現劇遊びを行なう。 幼児向けのダンスを創作する。②回目			
12	縄を用いての運動遊び 幼児向け創作ダンス		ストレッチ体操 縄跳び 縄を用いての運動遊びを行なう。 幼児向けのダンスを創作する。③回目			
13	即興表現遊び カレーライス 幼児向け創作ダンス		ストレッチ体操 縄跳び カレーライスの表現遊びを行なう。 幼児向けのダンスを創作する。④回目			
14	見立て遊び 鬼ごっこ 幼児向け創作ダンス		ストレッチ体操 縄跳び 鬼ごっこの見立て遊びを行なう。 幼児向けのダンスを創作する。⑤回目で完成と踊り込み			
15	創作ダンス発表会 合評会		完成した幼児向けダンスを発表する。 出来栄えについて合評会を行う。			
期末 試験	縄跳び等受講態度・実技テスト ノート(レポート)の作成を総合評価		評価方法	実技試験 レポート	70% 20%	受講態度 10%
【教科書】:特に使用しないが、必要に応じて資料を配付する。						
【参考書】:幼児の健康と運動遊び(保育出版社) 保育の中の運動遊び(萌文書林)						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】:幼児向けダンスの反復練習を復習としてしっかり行うこと。						
【本講義に関する質問先】: 担当教員			【質問方法】: 教員室にて			

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	こども未来学科	【学年】	1
鈴木佳代子	幼稚園・保育所 42年勤務	鈴木	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	15(30)
			【曜日・コマ】	水 1	【授業形態・単位】	講義 2
【授業の概要】 教育の理念や教育に関する歴史・思想について学び、教育学の基礎的な考え方を理解するための学習を中心として、制度や計画・方法に関する基礎的な事柄についても学ぶ。知識として身に付けなければならないものも多いが自分なりに考える姿勢も育てる。					【受講して得られる力】 前に踏み出す力 考え抜く力 発達援助技術	
【学習目標(到達目標)】 ①教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解する。 ②教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。 ③教育の制度について理解する。 ④教育実践の様々な取り組みについて理解する。 ⑤生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。						
【履修上の注意】		教科書等の持参物は忘れないよう注意すること。				
回数	授業のテーマ(担当教員)	授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性①	授業の概念や評価などについて理解する。 教育の意義を理解する。				
2	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性②	教育基本法「教育の目的」について理解する。				
3	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性③	乳幼児期の教育の特性を理解する。				
4	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性④	教育と子ども家庭福祉の関連性を理解する。				
5	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性⑤	人間形成と家庭・地域・社会等との関連性を理解する。				
6	教育の思想と歴史的変遷①	諸外国の教育の思想と歴史を理解する。				
7	教育の思想と歴史的変遷②	日本の教育の思想と歴史を理解する。				
8	教育の思想と歴史的変遷③	子ども観と教育観の変遷を理解する。				
9	教育の制度①	教育制度の基礎を理解する。				
10	教育の制度②	教育法規・教育行政の基礎を理解する。				
11	教育の制度③	諸外国の学校制度を理解する。				
12	教育の実践①	教育実践の基礎と教育理論(内容・方法・計画と評価)を理解する。				
13	教育の実践②	教育実践の多様な取り組みを理解する。				
14	生涯学習社会における教育の現状と課題①	生涯学習社会と教育を理解する。				
15	生涯学習社会における教育の現状と課題②	現代の教育課題や保育士の役割・課題を理解する。				
期末試験	筆記試験	評価方法	筆記試験	40%	受講態度	20%
			小テスト	20%	課題の達成度	20%
【教科書】最新保育士養成講座 第2巻 教育原理(全国社会福祉協議会)						
【参考書】保育所保育指針解説 保育福祉小六法(ミネルヴァ書房)						
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】授業テーマの課題を事前に提出すること。						
【本講義に関する質問先】		担当教員	【質問方法】教員室にて			

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	こども未来学科	【学年】	1	
田母神知加子	幼稚園・保育所 11年勤務	田母神	【開講時期】	後期	【回数(時間)】	15(30)	
			【曜日・コマ】	木 2	【授業形態・単位】	演習 1	
【授業の概要】 養護と教育にかかわる保育の内容を総合的に理解しつつ、子どもの発達を主に「環境」の領域の観点から捉え、子どもの理解を深めながら、周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持ってかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う発達の援助について具体的に学ぶ。					【受講して得られる力】		
【学習目標(到達目標)】 子どもの発達を「環境」の観点から捉え、子ども理解を深めながら保育内容について具体的に学ぶ。					考え抜く力 遊びの展開技術 環境構成技術 発達援助技術 生活援助技術		
【履修上の注意】							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	子どもをとり巻く環境		環境という言葉の意味を知る				
2	領域「環境」のねらいと内容		幼児教育において育みたい3つの資質・能力を学ぶ 幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的な10の姿を学ぶ				
3	自然に親しみ、植物や生き物に触れる		園芸・農業活動を体験する				
4	乳幼児の育ちと領域「環境」		子どもを取り巻く環境について考える 子どもの発達と環境との関わりについて考える				
5	乳幼児の世界と環境		子どもを取り巻く人的環境について学ぶ				
6	物や道具に関わって遊ぶ		子どもを取り巻く物的環境について学ぶ				
7	自然に親しみ、植物や生き物に触れる		五感を使って自然を感じる				
8	自然に親しみ、植物や生き物に触れる		動植物に出会い生命の尊さを感じる				
9	物や道具に関わって遊ぶ		発達に応じたものや道具について考える				
10	安全のための環境		災害・食・不審者に対する安全管理について学ぶ				
11	文字や標識、数量や図形に関心をもつ		子どもにとっての物・数・図形・標識・文字などの認識を知る				
12	文字や標識、数量や図形に関心をもつ		子どもの気づきや発見を促す掲示物について考える				
13	遊びや生活の情報に興味や関心をもち、地域に親しむ		地域社会の働きに気づく				
14	遊びや生活の情報に興味や関心をもち、地域に親しむ		地域の行事を知る				
15	遊びや生活の情報に興味や関心をもち、地域に親しむ		地域の行事に参加し、行事に参加することの大切さを学ぶ				
期末試験	筆記試験		評価方法	課題の達成度	30%	受講態度	30%
				筆記試験	40%		
【教科書】事例で学ぶ保育内容 環境 (萌文書林)							
【参考書】幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド本社) 保育所保育指針解説(厚生労働省)							
【授業時間外に必要な学習の具体的な内容】							
【本講義に関する質問先】			担当教員	【質問方法】			教員室にて

授業名: 乳児保育 I

※実務経験のある教員の授業科目

【担当教員】		【科目責任者】	【対象学科】	こども未来学科	【学年】	1	
渡邊 佐江子	保育所 16年勤務	渡邊	【開講時期】	前期	【回数(時間)】	15(30)	
			【曜日・コマ】	金 4	【授業形態・単位】	講義 2	
【授業の概要】 乳児保育の意義・目的・役割と現状を理解する。乳児期が人格の基礎をつくる時期であることを理解し、一人一人の子どもの発達を保障する保育内容と、子どもに寄り添う保育者の援助の基礎知識を学ぶ。					【受講して得られる力】 前に踏み出す力 考え抜く力 チームで働く力 発達援助技術 生活援助技術 環境構成技術 コミュニケーション技術		
【学習目標(到達目標)】 ①乳児保育の意義・目的と歴史的変遷について理解する。 ②保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ③3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 ④乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【履修上の注意】							
回数	授業のテーマ(担当教員)		授業の内容(授業方法・使用教材・学修方法)				
1	オリエンテーション		授業の進め方や授業方法について理解する。 乳児保育の基本となる考え方について理解する。				
2	乳児保育の目的と役割		乳児保育の目的と役割を理解する。 乳児保育における養護と教育の一体性について理解する。				
3	乳児保育の基本		乳児保育の背景や歴史的変遷を知る。多様な場での乳児保育の現状と課題、子育て支援、地域や家庭とのつながりについて理解する。				
4	0・1・2歳児の発達		0・1・2歳児の子どもの運動発達、認知発達、社会性の発達を理解する。				
5	乳児(0歳児)の保育内容		乳児(0歳児)の発達の特徴や過程を理解し、保育内容について学ぶ。				
6	1歳以上3歳未満児の保育内容		1歳以上3歳未満児の発達の特徴や過程を理解し、保育内容について学ぶ。				
7	乳児の生活と遊びの基本		乳児の生活と遊びの基本的事項を捉え、乳児保育における保育者の仕事を理解する。 乳児保育における健康や安全、防災対策について学ぶ。				
8	乳児の生活		乳児の生活(食事・睡眠と休息・排泄・着脱・清潔)について学ぶ。 乳児の生活場面での保育者の援助と配慮について考える。				
9	乳児の遊び①		0・1・2歳児の発達と遊びについて理解し、発達に適した遊びを考える。 保育者の遊びへのかかわりを学ぶ。				
10	乳児の遊び②		0・1・2歳児の発達と遊びについて理解し、発達に適した遊びを考える。 保育者の遊びへのかかわりを学ぶ。				
11	乳児保育の環境構成		0・1・2歳児の保育に必要な環境構成について学ぶ。				
12	乳児保育における全体的な計画		乳児保育における計画の必要性を理解し、全体的な計画及び指導計画の作成、保育の実践、省察・評価、再計画の往還(PDCA)の重要性を学ぶ。				
13	乳児保育における子育て支援		保育者に求められる子育て支援、保護者への対応、支援の実際について学ぶ。				
14	乳児保育における連携		乳児保育での職員、家庭、地域の連携について理解する。 乳児保育の重要性、保育者としての専門性と資質向上について理解する。				
15	授業のまとめ(一人一人を健やかに育てるために)		授業での学びを振り返り、乳児保育の重要性、保育者の専門性について確認する。				
期末試験	筆記試験		評価方法	受講態度	40%	筆記試験	60%
【教科書】講義で学ぶ乳児保育(わかば社)							
【参考書】幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド本社) 保育所保育指針解説(フレーベル館)							
【授業時間外に必要な学習の具体的内容】授業内容や自分の学びになったことをノートに整理し復習しておくこと。課題、ノートの提出。							
【本講義に関する質問先】			担当教員		【質問方法】		教員室にて